

PCR検査体制の強化について～人の移動が多い時期の対策～（令和3年3月26日）

- 本日は、PCR検査体制の強化について説明します。

スライド 2

- ご説明する内容としては、全県モニタリング検査の実施と、薬剤師会と連携した検査体制の強化の2点です。

スライド 3

- まずは、全県モニタリング検査の実施について説明します。

スライド 4

- 年度末や年度初めは、就職、転勤、進学、歓送迎会、花見、卒業旅行、連休など、人の移動や飲食の機会が増える時期です。
- 人の動きが活発になって、人と人の接触機会が増えれば、感染リスクも高くなります。
- 社会経済活動を継続しながら、感染を再拡大させないためには、感染拡大の予兆を探知して、早めに感染の広がりを抑え込む対策を打つことが重要です。
- そこで、本県においては、モニタリング検査を全県に拡大します。

スライド 5

- 感染者と非感染者の接触を遮断することが、感染防止対策の基本ですが、そのためには、積極的疫学調査やPCR集中検査によって感染者を特定して、病院やホテルに隔離して療養していただく方法と外出自粛や飲食店の時短・休業要請によって、広く地域の人流を遮断する方法の2つがあります。

スライド 6

- 感染ステージに着目して言うと、感染が散発的に発生している段階では、積極的疫学調査によって感染者を個別に特定することができますが、積極的疫学調査は、あくまで、感染者の周辺しか探知できません。

- 感染がある程度広がってしまった段階では、地域や対象を絞って、面的にPCR検査の集中実施を行い、市中に広がっている感染者を探知することで、感染の拡大を抑えるという方法が効果的であると考えています。

- それでも感染を抑えることができずに、爆発的に感染が広がってしまった場合には、外出の自粛や時短・休業要請といった手段に踏み込むこととなりますが、そういう状況にならないよう、モニタリングによって感染再拡大の予兆を捉えて早めの対策を講じる必要があります。

スライド 7

- これは、検査体制の全体像を示しています。
- 有症状の場合は、かかりつけ医や積極ガードダイヤルを通じて、身近なクリニック

(診療・検査医療機関)で検査を受けていただいています。

○ 無症状の方は、PCRセンターを利用していただいています。これとは別に、医療機関や高齢者施設の職員については、県の補助や委託により、検査を行っています。

スライド 8

○ これは、県内の感染者の判明経路別の人数です。

○ 積極的疫学調査によって陽性とわかる者は約3割で、残り7割は、医療機関経由とPCRセンターによるものです。

○ つまり、医療機関や検査会場へのアクセスが良ければ、それだけ陽性者を早く、多く見つけることができるということになります。

スライド 9

○ これは、これまで県内に設置したPCRセンターの一覧です。

○ 12月に感染者が急増した際には、流川、観音、東広島、福山、三次に順次、PCRセンターを設置し、受検者はこれまで、合計4万人を超えています。

スライド 10

○ これは、12月以降のPCRセンターでの受検者数の推移です。

○ 1月16日の958人をピークに、その後、減少傾向が続いています。

○ 2月中旬から受検者数が増えているのは、広島市内の集中対策が2月21日に終了した翌日から広島市内でモニタリング検査を開始しているためです。

スライド 11

○ 広島市内に注目すると、これは、流川と観音のPCRセンターの受検者数(黄色棒)と陽性率(青色線)の推移です。

○ 広島市内においては、12月の陽性率が2.95%でしたが、3月には0.15%まで下がっています。

○ このように、PCRセンターを活用することで、地域の感染状況をモニタリングすることができ、次の感染再拡大の予兆を探知できると考えています。

○ このため、PCRセンターの体制を少し変更することとします。

スライド 12

○ まず、対象者を拡大します。これまでは、高齢者施設や医療機関、飲食店の従業員など、特定の業種に限定していましたが、4月からは、業種を限定せず、広島県内の居住者

及び就業者であれば、どなたでも、どこのPCRセンターでも受検していただけます。

○ 全県モニタリング体制を敷くことで、感染再拡大の予兆を広く、面的にキャッチしたいと考えています。

スライド 13

○ 変更点の2点目は、福山PCRセンターの会場変更です。

○ これまで、旧新浜（しんはま）浄化センター跡地に設置していましたが、大雨が降ったときに浸水のおそれがあることから、4月からは、福山港の新涯地区に移転します。

○ 新涯地区の旧福山港フェリーターミナルの駐車場の一角を利用してPCRセンターを開設します。

スライド 14

○ 変更の3点目は、開設時間の変更です。

○ 5か所のPCRセンターを効率的に運営するため、東広島については、月、木、土曜日に、三次については、水、金、日曜日に開設することとします。

○ また、開設時間を11時から15時に統一します。

スライド 15

○ 4月以降のPCRセンターの体制を一覧にしています。

○ これまで通り、予約制ですので、受検されるときは、予約センターに電話をお願いします。

スライド 16

○ PCRセンターの位置を地図に落としたものです。

○ 県内の居住者や就業者であれば、どこのPCRセンターでも受検できますので、是非、モニタリング検査にご協力ください。

スライド 17

○ つづいて、薬剤師会と連携した検査体制の強化について説明します。

スライド 18

○ これは、2月に実施したPCR集中実施のトライアルの振り返りの総括として、先日発表したものです。

○ この中で、下線部の部分、「若年層の受検を促すため、より身近な場所で受検できる体制を整備する必要がある。」「コールセンターは、費用対効果が小さいため、薬局等を活用して予約を必要としない仕組みを検討する。」という課題を解決するため、広島市域の薬剤

師会と連携して、PCR検査の強化について検討しました。

スライド 19

○ 薬局を活用したPCR検査体制の強化についてまとめています。

○ 目的としては、2点あり、4月～5月の人の移動の多い時期におけるモニタリング機能と、感染再拡大の兆候がみられた場合は、PCR検査の集中実施に目的を切り替えることを想定しています。

○ 協力機関として、広島市薬剤師会の中野会長はじめ、安佐薬剤師会、安芸薬剤師会、広島佐伯薬剤師会の皆様のご協力を得て、薬局で検査キットの受け渡しと回収を行っていただくことができるようになりました。

○ 実施期間は、当面、4月1日から5月末まで、モニタリングを行いながら、感染再拡大の兆候がみられたときには、集中実施にスイッチする予定です。

○ 検査対象者は、広島市内の居住者及び就業者で、検査料は無料です。受検方法については、後ほど説明します。

スライド 20

○ 薬局を活用したPCR検査のメリットです。

- ・ 住民に身近な場所で検査ができる。
- ・ 予約が不要となり、コストを削減できる。
- ・ 住民は、コンビニ感覚で受検できる。
- ・ 検査キットを複数受け取って、同居家族等がまとめて受検できるので、若年者の受検にもつながる。
- ・ 日時に拘束されず、「密」を気にせず、自宅でゆっくり唾液を採取できる。
- ・ PCR集中実施を機動的に発動することができます。

○ 当面は、モニタリング機能を、感染再拡大時には、PCR検査集中実施の機能を担うこととしています。

スライド 21

○ 薬局を活用したPCR検査のフローです。

○ 方法は大変簡単です。

スライド 22

① まず、検査を受けようとする方が、薬局に行って検査キットを受け取ります。このとき、受検者の氏名、連絡先、検体を提出する日を確認します。家族の人数分の検査キットをまとめて受け取ることもできます。

② 受検者は、自宅で唾液を採取してもらいますが、検体を提出するその日に唾液を採取してください。その検体をすぐに薬局に提出できない場合は、冷蔵庫で保管しておいてく

ださい。

③ 受検者には、指定曜日に薬局に検体を提出していただきます。家族の検体をまとめて提出することもできます。唾液採取後、できるだけ早く13時までに薬局に持って行ってください。

④ 県の委託業者が、薬局を巡回して検体を回収し、検査機関に搬送する。…という流れになります。

スライド 23

○ 検査キットの受け渡しができる薬局は、205か所あります。

○ 検体を提出する曜日は決まっていますので注意してください。

○ 中区、東区、安佐北区、安芸区の薬局は、月曜日と水曜日で、南区、西区、安佐南区、佐伯区の薬局は、火曜日と金曜日です。

○ 検体を提出した翌日には、検査結果が判明します。

○ 木曜日と土・日は、薬局で検体を受け取ることはできませんので、流川か観音のPCRセンターをご利用ください。

スライド 24

○ これは、参加薬局の配置図です。

○ 具体的な薬局名は、県のホームページに掲載しますが、リストを別紙でお配りしておりますので、報道の皆さんには、積極的に報道していただくと幸いです。

スライド 25

○ 参加薬局では、こうしたポスターや幟旗を掲げる予定ですのでお気軽にお立ち寄りください。

スライド 26

○ ここで、薬局での検査キットの受け渡しについて、動画を用意しておりますので、ご覧ください。

○ 時間は、2～3分です。

スライド 27

○ 繰り返しになりますが、年度末・年度初めは、人の移動や飲食の機会が増えます。

○ 感染を再拡大させないため、PCRセンターや、薬局のモニタリング検査にご協力ください。

スライド 28

○ 気をつけていただきたいのは、PCRセンターや薬局を利用していただくのは、無症状の方に限ります。

○ 発熱や鼻水など、風邪症状のある方は、まずは、かかりつけ医に電話で相談してください。ここで診療・検査できない場合は、他の医療機関をご紹介します。

○ どこに相談したらよいかわからない方は、24時間対応の「積極ガードダイヤル」に電話していただければ、最寄りの医療機関をご案内します。

スライド 29

○ 最後に改めて県民の皆さんにお願いがあります。

感染を再拡大・リバウンドさせないため、飲食店を選ぶときには、パーティションなど飛沫予防がされているか、換気されているか、をチェックするとともに、あなた自身も、大声を出さない、深酒をしない、会話する時はマスク着用など、感染予防の対策をして迷わず「広島積極ガード店」を選んで飲食を楽しんでいただきたいと思います。

スライド 30

○ そして、改めて「広島コロナお知らせQRコード」の読み込みをお願いします。

○ この春のおでかけは、「マスク」「消毒」「QR」をお願いします。

スライド 31

○ 年度変わりの春は、いろんな行事がありますが、歓送迎会や花見では、飛沫予防を徹底していただくとともに、卒業旅行では、なるべく混雑しない平日に、いつもの仲間で、感染リスクの高い地域への旅行は控えていただきたいと思います。

○ 一人一人が、感染予防の意識を持って行動すれば、感染が拡大することなく、日常生活を続けることができます。引き続き、油断することなく、ウイズ・コロナの生活様式の継続をお願いします。

○ 私からの説明は以上です。